

環境先端都市を目指して

# 「環境マネジメントシステム」

## の取り組み状況

大館市は、平成12年度から国際規格であるISO14001に基づく「環境マネジメントシステム」の運用を続け、今年6年目を迎えました。今回は、平成16年度の取り組み状況と、今後の方向性についてお伝えします。

地球温暖化やオゾン層破壊など地球環境問題はより深刻化し、地球の自然の浄化力や回復力は限界を超えようとしています。このままでは、未来を担う子供たちに明るい地球環境を伝えることが出来なくなってしまう。

世界中の地域、あらゆる組織に適用できる規格

「環境マネジメントシステム規格」は、人類共通の課題である地球環境の保全に、世界中で取り組むことが出来るように国際標準化機構（ISO）が定めたもので、ISO14001（1）は、その仕様書です。

大館市は、平成12年4月から「環境マネジメントシステム」の運用

を始め、同年8月に審査登録機関からISO14001に適合しているという認証を受けています。

毎年目標が設定され、達成状況を点検しています

環境マネジメントシステムの運用にあたっては、環境方針や一定期間に達成すべき目標が設定され、1計画 2実施 3点検 4見直しというサイクルを繰り返します。それによって、毎年新たな目標が設定され、システムを継続的に向上させていきます。

また、このシステムを適用する施設や事業の範囲も毎年の見直しで拡大されます。現在では、市立総合病院、福祉事務所、文化会館

樹海ドームなどを除いて、多くの施設や事業が環境マネジメントシステムの適用範囲となり、毎年30を超える項目について目標の達成状況を点検しています。

目標数値と実績

平成16年度の評価実績は、3項目を除いて順調に目標を達成しています。その一部をグラフで紹介いたします。グラフの二酸化炭素排出量は、エコプラン（2）と連動した取り組みで、平成12年度対比20%削減の目標を大きく超えています。また、グリーン購入（3）、グラフ（4）や事務用紙の使用量グラフ（5）も目標数値を達成してい



現在の登録証は、2003年に更新され、2006年までの有効期限となっております。